

平成 31 年（令和元年）度

大さん橋（大さん橋国際客船ターミナル及び大さん橋駐車場） 事業報告書

令和 2 年 5 月

指定管理者：横浜港振興協会・神奈川新聞社・ハリマビシステム共同事業体

(1) ターミナル利用状況 (添付資料 - 1 参照)

①入館者数

平成 31 年 (令和元年) 度ターミナル入館者数は 3,114,826 人となりました。当事業体の掲げた「来場者数 3,000,000 人」を 2 年連続で達成いたしました。主な要因としては大さん橋での出港イベントとして定着してきた「見送りキャンペーン」を 139 回実施し多くの方が来場しました。また、横浜開港祭に合わせて入港した護衛艦「ゆうぎり」での船内見学会では約 10,000 人、10 月の観艦式で入港した護衛艦「いずも」と「むらさめ」での船内見学では約 38,860 人。合わせて約 48,860 人の方に来場していただきました。毎年恒例のスパークリングトワイライト花火の鑑賞会では 10,000 人、岸壁を使用した大さん橋マルシェでは今年度 2 回開催し合計 4 日間で約 30,000 人の方に大さん橋へ足を運んでいただきました。客船の寄港も 153 隻 (暦年) となり昨年に引き続き高い水準での入港数となり、集客要因の一つとなりました。また、2019 年 11 月より「横浜港フォトジェニックイルミネーション」を 3 月末日まで開催し新しく大さん橋での夜の楽しい過ごし方を提供できたことにより、SNS でも大変盛り上がり多くの市民の方が大さん橋へ足を運ぶきっかけになっております。

今年度の 2 月～3 月にかけては新型コロナウイルスの影響で来場者数は大幅に減少しましたが、それまでに魅力あるイベント等を開催していた結果、来場者数 3,000,000 人を達成できました。

②駐車場

平成 31 年 (令和元年) 度の駐車場利用料収入は 141,199,010 円でした。昨年が 160,749,985 円でしたので、前年対比 87% (19,550,975 円減) でした。駐車場利用台数は普通車 141,890 台、大型車 4,155 台で合計 146,045 台となりました。前年対比では約 91% (14,214 台減) でした。新型コロナウイルスの影響で 2 月以降客船がキャンセルになったこと、ホールイベントがキャンセルになったことが減収要因にあげられます。駐車場利用促進として構成企業である神奈川新聞に広告を掲載し駐車場利用の PR を行いました。また、近年の自動車離れを鑑みて観光バスの受入を積極的に行っています。バス会社や旅行会社、近隣のホテルへセールスシートの送付や職員が直接出向いての営業活動を実施いたしました。来年度もさらに積極的な営業活動を続けていきます。

③ホール

平成 31 年（令和元年）度のホール利用は 219 日間で稼働率 60.0%、前年度対比 25 日減・稼働率 6.8%減、利用基本料金収入は 78,560,000 円、前年対比 7,020,000 円減・91.8%で予算達成率は 85.8%となりました。今年度マイナスの要因は 2 点あります。①9 月に発生した台風 15 号の強風の影響で、ホール内の海側に面したガラスが損傷を受けたことによる利用者からのキャンセル。②年明けに拡大した新型コロナウイルス感染症対策として、横浜市が発出したホール利用自粛要請に伴う利用キャンセル。①は 11 月から 1 月の間に 4 件の催事で合計 8 日間・3,700,000 円分のキャンセルが発生しました。キャンセル理由は景観の悪化と、催事運営における安全確保に疑義があるとの判断です。②は 2・3 月で 10 件の催事で合計 24 日間・8,950,000 円分のキャンセルが発生しており、令和 2 年 5 月 6 日までの利用自粛に伴う閉館で、4 月以降も利用中止が多発している状況です。今年度は上期から予約状況は非常に順調に推移していて、①②の事態が無ければ予算を達成できた利用申し込み状況でした。

明るい材料としては新規の利用や問い合わせの増加が見受けられます。指定管理者のネットワークを駆使して新聞社の主催・後援事業や、地方の新聞社が主催する催事の開催などが挙げられます。12 月には山梨日日新聞社主催の「蔵出しワインバー」の利用が 3 日間ありました。ホール以外にも野外劇場などの付帯設備や駐車場の大規模占有などで、オプション収入にも大きく貢献しました。5 月に 8 日間の利用があった「ばらフェスタ」では来場者が非常に多く、連日入場制限をする状況でもありました。これらの催事は来年度以降の予約も頂いています。また、全国で最大級の手芸材料展示販売会「布博」の 3 日間の利用は、主催者から「Bead Art Show」（年間 4 回・16 日間利用）の集客力に刺激を受けての利用とお聞きしました。その他の新規利用では 12 月に 4 日間利用があった子役のオーディション全国大会「BEST KIDS AWARDS」など、今までに利用が無かった催事での利用が増加しています。また、旅行代理店への営業で、各社から大掛かりな催事の利用・問い合わせが増加傾向です。引き続きの長期利用者は年間を通して最多の利用日数の、8 回の開催があった家具の大正堂「横浜グランドインテリアフェア」の 56 日で前年比 16 日増、利用基本料金合計は 20,350,000 円で前年比 5,450,000 円増。これはホール利用基本料金収入合計の 25.9%（前年比 8.5%増）を占めます。来場者も毎回非常に多く、曜日・天候に関わらず 1 日平均 2,000 人を超す展示会です。主催者によると毎回売上目標額を達成し、今年度は当ホールでの過去最高の売上額を更新した回があったとの話を聞いています。富士ソフトの「新入社員研修会」は日数を増やして今後も安定的な長期利用が想定されるため、十分にコミュニケーションを取れる関係性を維持して取りこぼしの無い様にいたします。他にも新入社員研修で家電量販大手企業からの申込みも入っています。その他の利用では前年度同様にハワイアンイベント、企業の関係者向けイベント、学術系発表会と懇親会、展示販売会、ビールや日本酒などアルコール類の試飲会、音楽イベント、格闘技の興行など多岐にわたりました。ホール内の他に野外劇場や駐車場などの付帯設備を連携させて利用する様に提案したことが活かしたケースも散見されます。イベント終了後には来場者等から同様の催事の問い合わせが集中する傾向にあります。ホールオプション利用料金はガラス破損・新型コロナキ

キャンセルの影響を大きく受けたにも拘らず、前年比 882,708 円増の 33,207,314 円を計上しました。利用者の要望を柔軟に対応した結果であり、全体収入を底支えする一因と考えられます。前年度に引き続き自主・共催事業を実施して、普段の利用者とは世代の違った来場者に大さん橋の魅力を発信いたしました。

ホール利用はリピート利用率が極めて高く、一度利用があるとその後の継続利用に発展するケースが多いことが特長です。新規の利用希望も多数ありますが、年間を通してレギュラー化しているイベント利用で埋まり、特に週末の新規利用は厳しい状況です。新規受け入れのためのプロモーション活動としてマリンタワーなどの近隣施設のイベントとコラボレーションさせて、ホールと C I Q プラザ、野外劇場などの付帯施設と連携利用の提案を進めます。また、フロートを活用した新規利用の掘り起しを行った結果、来年度には企業の周年催事でフロートからの花火打ち上げを検討して頂いている案件もあります。稼働率アップの観点から利用者アンケートの継続的調査を実施して、利用者の満足度向上とリピート率の向上を図ります。

④ C I Q プラザ

平成 31 年（令和元年）度の C I Q プラザ利用料金は 2,920,000 円で、前年度比プラス 220,500 円でした。主な利用内容はワイン試飲即売会や測量機器展示会、ホールイベントと連動した利用などです。C I Q プラザは客船入出港時の本来目的での利用が最優先のため目的外利用には厳しい制限が伴い、利用促進が極めて難しいのが実情です。一方でホールと違い 100 m²単位での分割貸し出しが可能な施設ですので、稼働可能日数の制限などの課題はありますが、入出港状況を踏まえながら増収につながる利用を積極的に提案・受入をして参ります。

⑤ 出入国ロビー

平成 31 年（令和元年）度の出入国ロビー利用料金は 929,500 円でした。前年度が 770,750 円で 158,750 円の増となり、前年比 120.6%でした。ヨコハマベイフィルハーモニーのコンサートを自主事業で開催しました。

⑥ 屋上広場

平成 31 年（令和元年）度の屋上広場利用料金は 3,047,850 円でした。前年度が 3,430,980 円で 383,130 円の減となり、前年比 88.8%でした。主な収入は CM やテレビ番組、音楽 PV などの占有料やホールイベントと連携しての利用料などになります。

⑦ 撮影

平成 31 年（令和元年）度の撮影使用料金は 16,170,000 円でした。前年度が 16,125,000 円で 45,000 円増加となり、前年比 100.2%でした。今年度も従来とおり婚礼撮影での利用が過半数を占めました。静止画 1,341 件、動画 138 件となりました。今後も客船の入港状況やイベント状況に十分に配慮しながらも臨機応変に対応していきます。また、関係各所と調整しドローン撮影も事業として行っていく予定です。

⑧ショップ及びテナント

契約期間は平成 31 年 4 月より 2 年間となります。

ショップ：キタムラ、ロイヤルウイング、泉水工房、おとどけいきゅう、スポーツプラザ、X-Port、(8 月末日にスポーツプラザ閉店、10 月より横濱ハイカラ館と契約更新)

飲食店：ブルーターミナル、サブゼロ

テナント：神奈川新聞社、郵船クルーズ、入国管理局、横浜税関、JTB、東海汽船、ゆたかクラブ

施設利用：ベストワンクルーズ、郵船トラベル

⑧収支

添付資料 - 2 参照

平成 31 年（令和元年）度の指定管理収支は収入が 651,222,083 円、支出は 642,693,393 円で営業利益は差引 8,528,690 円となりました。利用料金収入について、大さん橋ホールは新型コロナウイルスの影響が出る前までは好調で当初予算を達成するペースでしたが、影響の出始めた 2 月の利用料金は大幅に減少し 3 月の利用料金はありませんでした。駐車場に関しても近年の車離れと新型コロナウイルスの影響により 2 月 3 月の利用料金は大幅に減少しました。今年度は提案事業収入が好調でした。その理由としてはスパークリング花火に関する売上と大さん橋ホールのオプション収入が挙げられます。

また、横浜市からの委託事業では、門衛巡回、大黒ふ頭、山下ふ頭の客船を受け入れ業務をいたしました。収入として 361,786,083 円に対し、支出が 336,783,810 円で 25,002,273 円の営業利益となりました。

(2) ターミナル利用促進務として、以下の自主事業を開催しました。

実施日	曜日	時間	場所	催事名	内容
通年		客船出港時	屋上	見送りキャンペーン	出港する全ての客船に向けて航海の安全と横浜での再会を願い日中は黄色いタオル、夜間はサイリウムライトを無料配布した。
4 月 1 日- 4 月 14 日		終日	屋上基部側	うみ桜	屋上に造花の桜を設置。夜間は 24:00 までライトアップ
4 月 27- 5 月 6 日		9:00-21:30	出入国ロビー	平成のパネル展	改元イベントの一環でロビー内に平成の写真展を開催する(パネル 60 枚)
4 月 28 日	日	20:00-20:03	ミニフロート	お見送り(特殊煙火)	特殊煙火(小型花火)を打ち上げ、客船へご安航の意を表す

6月1-2日	土日	10:00-16:00	山下側岸壁	護衛艦「ゆうぎり」 一般公開	第38回横浜開港祭の関連イベントとして共催
6月8-9日	土日	10:30-16:00	山下側岸壁	第12回大さん橋マルシェ	県内外の野菜、青果、加工品の販売と地元の食材を使ったメニューの販売
7月13-14日	土日	14:00-20:00	山下側岸壁・デッキ・屋上	スパークリングトワイライト花火の鑑賞	花火大会の有料観覧席の提供
8月2日	金	17:30-20:30	屋上	スマートフェスティバル花火の観賞	花火大会の有料観覧席の提供
9月28-29日	土日	10:30-16:00	山下側岸壁	第13回大さん橋マルシェ	県内外の野菜、青果、加工品の販売と地元の食材を使ったメニューの販売
10月5-6日	土日	10:00-16:00	岸壁	護衛艦「いずも」「むらさめ」一般公開	観艦式開催に伴い「いずも」「むらさめ」一般公開
11月22日-3月31日		17:00-22:00	屋上	横浜港フォトジェニックイルミネーション	屋上先端に3種類の光のイルミネーションの設置。
11月30日-12月25日		9:00-21:30	ロビー	クリスマスツリー	クリスマスツリーの設置。
12月8日	日	15:00-16:00	出入国ロビー(CIQ前)	ヨコハマベイフィルハーモニーウィンターコンサート	「歓喜の歌」を参加者200名以上の演奏、合唱
12月31日	月	18:00-0:00	出入国ロビー・CIQ	除夜の汽笛と初日の出@大さん橋	営業時間外も開館し、交通広場にキッチンカーを設置。年越し目的の来場者に暖かい飲食の提供。ハンマーヘッドと連携しカウントダウン花火を実施した。
1月1日	火	0:00-8:00	出入国ロビー・CIQ	除夜の汽笛と初日の出@大さん橋	年越し後も開館し、CIQでの映画上映。キッチンカーも継続して設置
2月11-12日	火・水		ダイヤモンドプリンセス	神奈川新聞寄贈	JVが連携しコロナ感染に伴うダイヤモンドプリンセス乗船客へ神奈川新聞を寄贈した。乗船客よりお礼の電話やカーニバル社より礼状が届いた
2月24日	日	9:00-16:30	ロビー・屋上	凧揚げチャレンジ	ロビー内で凧に絵付けし、屋上であげた。
3月13日~	金	終日	ロビー CIQ前	大さん橋ストリートピアノ	ロビーCIQ前に来館者が自由に弾けるピアノを設置した
3月16日	月	終日	ロビー	大さん橋絵馬プレゼント	来館者へ大さん橋絵馬をプレゼント先着200名。横浜港が元気を取り戻す企画。
3月17日	火	終日	屋上基部側	うみ桜	屋上に造花の桜を設置。夜間は24:00までライトアップ

(3) 管理業務の報告書（管理業務実施一覧表）

添付資料 - 3 の通りです。

(4) 施設整備に関する事項（100,000 円以上を記載）

- ・アスカラウンジ内床下ファンコイルユニットの交換修理（2 台）を行いました。（669,600 円）
- ・スロープ 7 及び 8 の自動ドア装置の交換修理を行いました。（151,200 円）
- ・駐車場排水槽 PD-10 の満水警報発報による緊急排水作業を行いました。（129,600 円）
- ・ホール吊りボタン照明の電源ケーブル交換修理を行いました。（321,750 円）
- ・ロビー系統外調機のファンモーター整備を行いました。（132,000 円）
- ・消防設備機器の各種交換修理等を行いました。（2,616,900 円）
- ・クルーズデッキ 6 内側自動ドア装置の交換修理を行いました。（665,500 円）
- ・大さん橋ホール内ガラスひび割れ破損発生に伴い、飛散防止フィルムの貼付け作業等の緊急作業を行いました。（704,000 円）
- ・大さん橋ホール内ガラスひび割れ破損発生に伴い、ガラス交換用吸盤装置の緊急改良作業を行いました。（800,000 円）

(5) 電気使用量について。

今年度の電気使用量は、2,972,445kwh となりました。前年度が 3,219,671kwh だったため、前年度対比 92%（247,226kwh 減）でした。主な減少要因としては、新型コロナウイルスの影響で客船入港やホールイベントがキャンセルになったこと、7月の天候不順による外気温度が例年より下がったことにより空調設備関係の電力負荷が下がったことが要因と思われる。

しかし、それを除いた電力量を比較しても、前年よりも約 2%ほど電気使用量が減少しており、JV スタッフ内で一体となり実施している電力削減活動（利用時以外の照明の消灯及び不必要な空調の停止対応など）の効果が出てきております。今後も電気使用量に限らず、さらなるエネルギー使用量の削減に努めていきます。

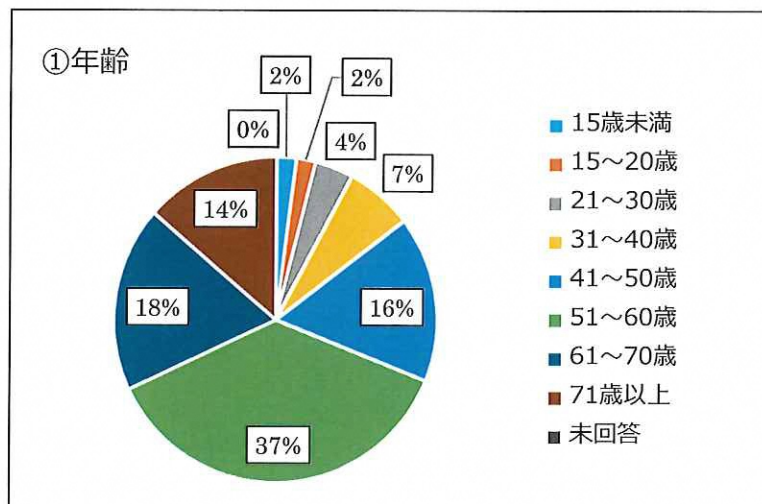
(6) アンケート結果 来館した 106 名の方にご回答いただきました。

(実施期間 2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日)

年齢層は 15 歳未満から 70 歳以上と幅広く、男女比率では 8 対 2 で、横浜市内からご来館された方が 77% で市外の方が 23% でした。主に利用した施設では屋上が最も多く、次いでレストラン、ロビー、カフェの順になりました。利用した、利用する近隣施設では中華街、山下公園、赤レンガ倉庫が突出して多く、大さん橋ターミナルが近隣施設の結節点になっていることが伺えます。来場者頻度としては月に 1 回程度が半数を占めております。スタッフ・屋上・ロビーの印象はほとんどの方からとても良い印象をいただきました。来館者からいただいたご意見の中で回答できるものはお客様からのご意見及び回答として HP 上に掲載しております。

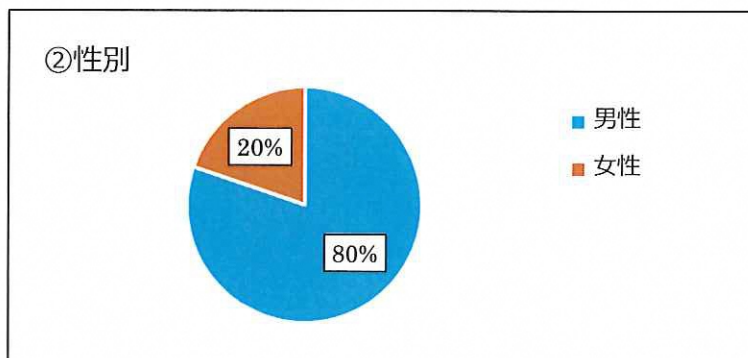
①年齢

1	15 歳未満	2
2	15～20 歳	2
3	21～30 歳	4
4	31～40 歳	7
5	41～50 歳	17
6	51～60 歳	38
7	61～70 歳	19
8	71 歳以上	14
9	未回答	0
		103



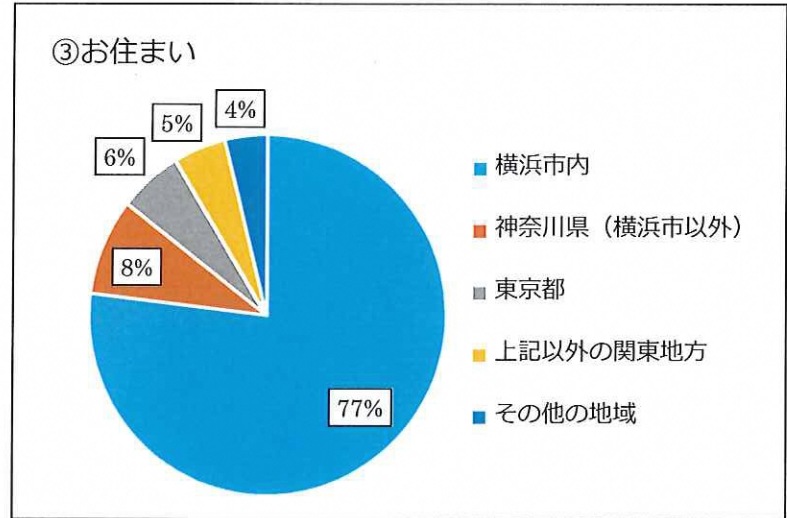
②性別

1	男性	85
2	女性	21
		106



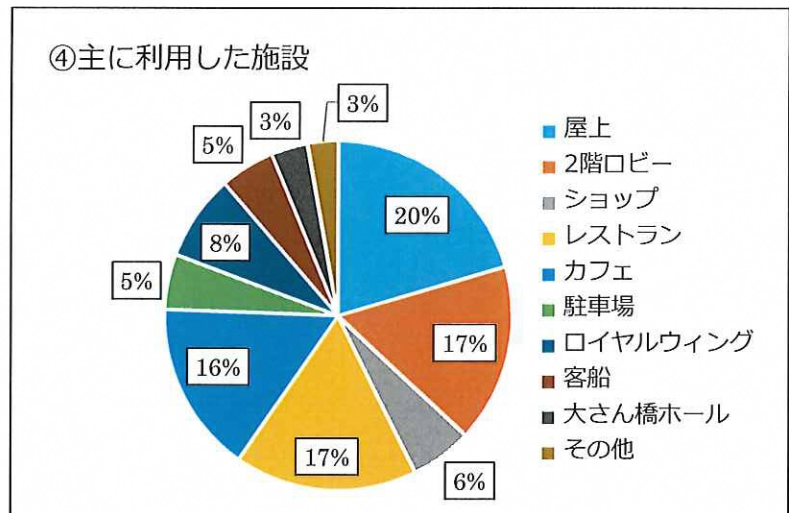
③お住まい

1	横浜市内	80
2	神奈川県 (横浜市以外)	9
3	東京都	6
4	上記以外の 関東地方	5
5	その他の地域	4
		104



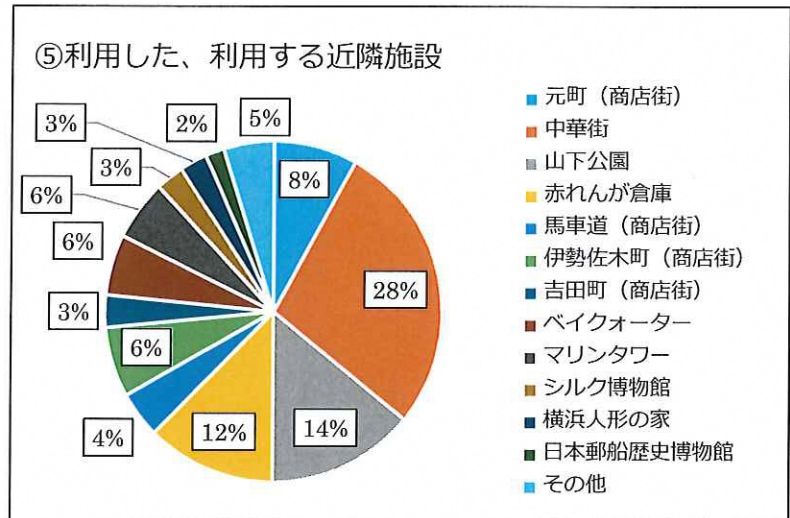
④主に利用した施設

1	屋上	36
2	2階ロビー	29
3	ショップ	10
4	レストラン	30
5	カフェ	28
6	駐車場	9
7	ロイヤルウィング	14
8	客船	9
9	大さん橋ホール	6
10	その他	5
		176



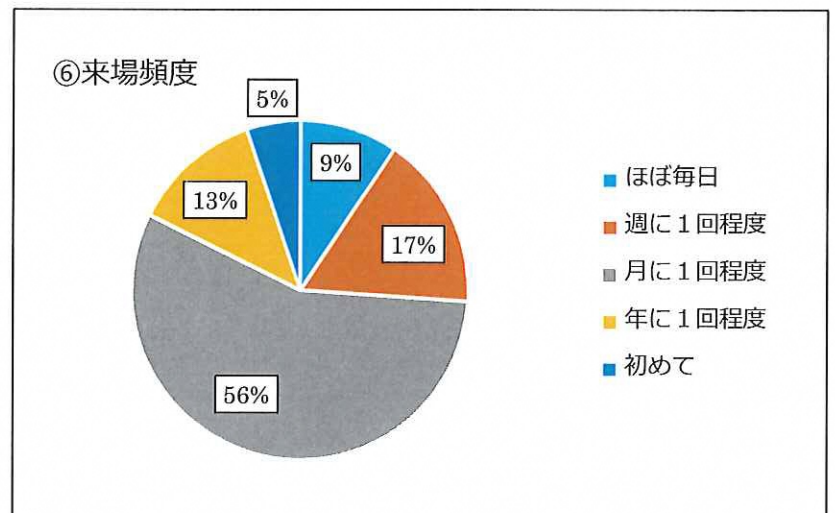
⑤利用した、利用する近隣施設

1	元町(商店街)	18
2	中華街	63
3	山下公園	32
4	赤れんが倉庫	28
5	馬車道(商店街)	10
6	伊勢佐木町	15
7	吉田町(商店街)	7
8	バイクォーター	13
9	マリントワー	13
10	シルク博物館	6
11	横浜人形の家	6
12	日本郵船歴史博物館	4
13	その他	11
		226



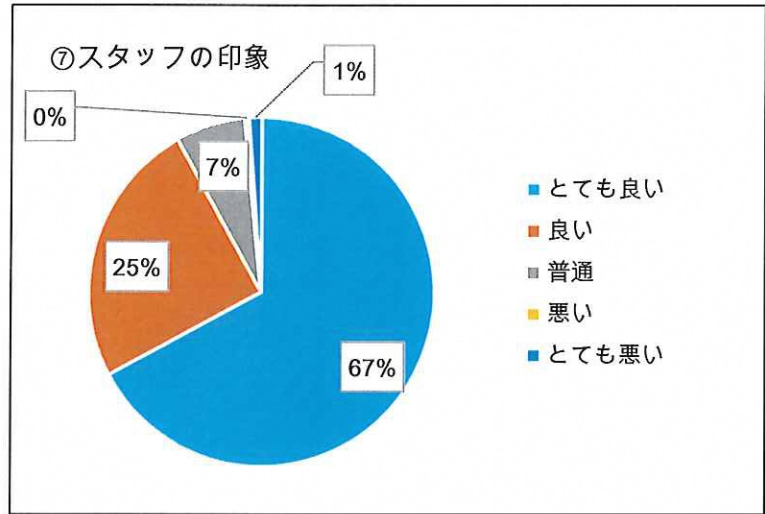
⑥来場者頻度

1	ほぼ毎日	9
2	週に1回程度	16
3	月に1回程度	54
4	年に1回程度	12
5	初めて	5
		96



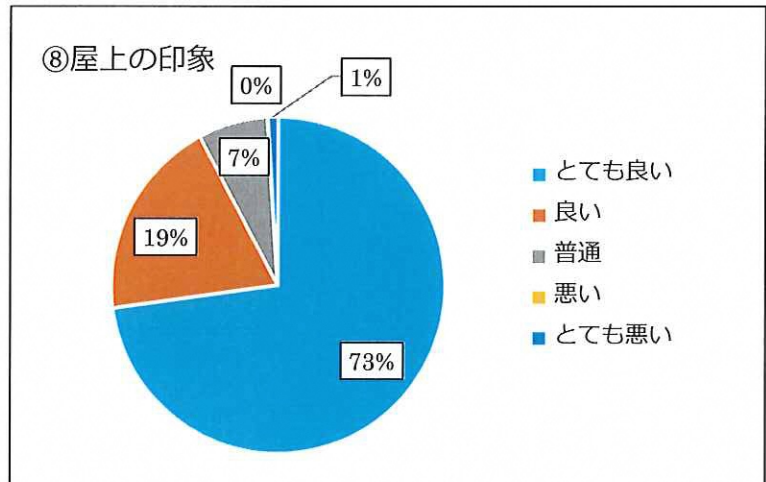
⑦スタッフの印象

1	とても良い	71
2	良い	19
3	普通	12
4	悪い	0
5	とても悪い	1
		103



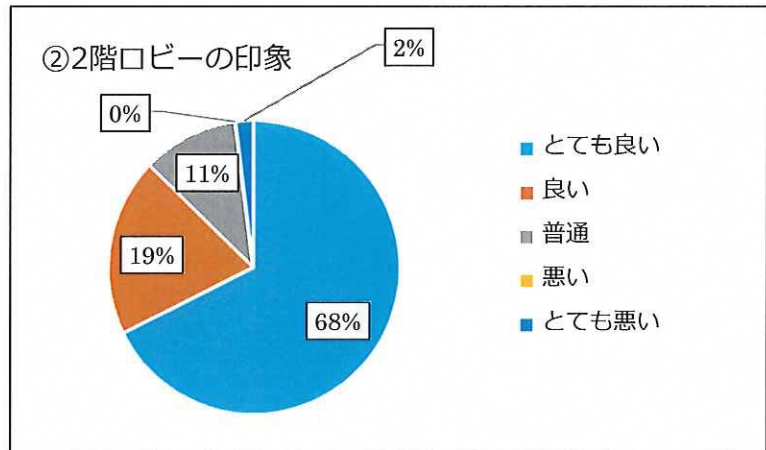
⑧屋上の印象

1	とても良い	75
2	良い	20
3	普通	7
4	悪い	0
5	とても悪い	1
		103



⑨2階ロビーの印象

1	とても良い	69
2	良い	20
3	普通	11
4	悪い	0
5	とても悪い	2
		102



(7) その他

① 管理運営を行うにあたり、安心安全な施設づくりのための「安心・安全対策委員会」による訓練・講習・研修会などを毎月実施しました。

- ① 4月 不審物の取り扱いについて
- ② 5月 ゴミの分別について
- ③ 6月 港湾警備 SOLAS 対応について
- ④ 7月 屋内消火栓と消火器の取り扱いについて
- ⑤ 8月 館内設備機器と節電について
- ⑥ 9月 護身術訓練会、中自衛消防隊「消防操作法技術訓練会」への参加
- ⑦ 10月 AED 使い方講習
- ⑧ 11月 全体消防訓練①
- ⑨ 12月 ハラスメントについて
- ⑩ 1月 オリンピック・パラリンピックに向けて宗教関係について
- ⑪ 2月 全体消防訓練②
- ⑫ 3月 さすまたを使った防犯訓練

② 親しみやすいターミナルとなるよう学生の見学受付や職場体験に対応しました。体験内容はターミナル内の軽作業や客船おもてなし準備等を体験してもらいました。受け入れ実績は以下の通りです。

11月7日～8日 横浜市立境木中学校

1月23日 横浜市立秋葉台中学校・汐見台中学校・港中学校

以上

R元年度(2019)

元 年度	客船 ターミナル	駐車場												ホール	CIQ	出入国 ロビー	屋上広場	発券所	店 舗 事務所	会議室	撮影				自動販売機	使用料 合計								
		台数				使用料				定期券		回数券									プリペイドカード		動画				スチール							
		入場者数	普通車	大型車	合計	普通車	大型車	合計	枚数	使用料	枚数	使用料	枚数								使用料	使用料	使用料	使用料			使用料	使用料	使用料	使用料	件数	使用料	件数	使用料
4月	332,973	12,471	331	12,802	10,607,821	463,500	11,071,321	23	3,214,481	3,050	925,000	5	100,000	8,450,000	800,000	177,250	180,360	216,000	2,498,500	67,000	15	270,000	113	990,000	54,000	29,013,912								
5月	330,620	12,718	480	13,198	12,433,536	638,500	13,072,036	2	138,000	4	80,000	3,100	945,000	5,290,000	20,000	10,000	361,080	100,000	2,316,500	36,000	9	240,000	131	1,225,000	54,000	23,887,616								
6月	241,563	12,238	398	12,636	10,069,832	651,000	10,720,832	5	549,120	3,500	1,050,000	1	20,000	10,410,000	0	62,500	236,800	34,000	2,316,500	38,000	10	420,000	100	1,035,000	54,000	26,948,752								
7月	236,857	11,447	369	11,816	10,241,572	502,000	10,743,572	3	197,481	2,000	600,000	3	60,000	5,500,000	500,000	125,000	419,100	178,000	2,319,500	129,000	13	540,000	101	895,000	54,000	22,260,653								
8月	269,989	16,437	299	16,736	14,909,900	473,500	15,383,400	3	163,000	1,500	450,000	7	140,000	8,900,000	60,000	270,000	149,520	162,000	2,319,500	100,000	11	300,000	105	810,000	54,000	29,261,420								
9月	295,428	13,074	333	13,407	10,866,377	475,500	11,341,877	2	138,000	4,000	1,210,000	4	80,000	8,010,000	100,000	65,000	690,840	158,000	2,257,500	72,000	8	240,000	145	1,295,000	54,000	25,712,217								
10月	321,028	11,859	476	12,335	10,526,403	973,500	11,499,903	1	18,000	2,500	760,000	11	220,000	7,180,000	50,000	55,500	204,150	110,000	2,321,500	67,000	9	270,000	105	1,120,000	54,000	23,930,053								
11月	300,231	12,300	430	12,730	10,294,127	741,000	11,035,127	2	98,000	1,900	570,000	4	80,000	6,010,000	190,000	114,250	128,400	159,000	2,321,500	33,000	18	520,000	151	1,345,000	54,000	22,658,277								
12月	293,138	13,792	317	14,109	12,337,658	424,000	12,761,658	1	18,000	2,500	750,000	2	40,000	7,350,000	510,000	50,000	67,200	168,000	2,321,500	15,000	12	360,000	107	905,000	54,000	25,370,358								
1月	222,914	10,817	338	11,155	7,922,965	347,500	8,270,465	3	126,132	4,350	1,325,000	3	60,000	6,610,000	0	0	126,000	14,000	2,321,500	23,000	9	120,000	76	745,000	54,000	19,795,097								
2月	160,326	8,173	279	8,452	5,863,655	407,500	6,271,155	2	56,283	1,550	480,000	3	60,000	4,850,000	690,000	0	430,200	19,000	2,321,500	61,000	10	280,000	85	785,000	54,000	16,358,138								
3月	109,759	6,564	105	6,669	3,126,167	35,000	3,161,167	0	0	3,500	1,065,000	4	80,000	0	0	0	52,200	0	2,321,500	28,000	14	390,000	122	1,070,000	54,000	8,221,867								
合計	3,114,826	141,890	4,155	146,045	119,200,013	6,132,500	125,332,513	47	4,716,497	30,354	9,265,000	3,147	1,885,000	78,560,000	2,920,000	929,500	3,047,850	1,318,000	27,957,000	669,000	138	3,950,000	1,341	12,220,000	648,000	273,418,360								

令和元年度収支決算報告書

収入

区分	当初予算	決算額	差引	当月の内容等	
①指定管理料	256,829,000	275,426,290	▲ 18,597,290		
②利用料金収入	293,163,000	273,418,360	19,744,640		
項 目	大さん橋ホール	91,607,000	78,560,000	13,047,000	
	CIQプラザ	3,294,000	2,920,000	374,000	
	出入国ロビー、クルーズデッキ、屋上	3,025,000	3,977,350	▲ 952,350	
	事務所・店舗利用料、発券所利用料	37,631,000	46,762,000	▲ 9,131,000	
	駐車場	157,606,000	141,199,010	16,406,990	
③提案事業収入	51,610,000	92,041,433	▲ 40,431,433	詳細は提案事業内訳書参照	
④横浜市の費用負担分		10,336,000	▲ 10,336,000	新型コロナウイルス感染症に関する横浜市の費用負担分	
収入合計(A)	601,602,000	651,222,083	▲ 49,620,083		

市からの委託(B)		361,786,083		詳細は受託事業内訳書参照
収入総合計(A)+(B)		1,013,008,166		

支出

区分	当初予算	決算額	差引	当月の内容等	
①維持管理運営費合計	580,345,000	583,630,306	▲ 3,285,306		
項 目	人件費	156,184,000	157,337,738	▲ 1,153,738	
	消耗品費、備品購入費等	7,749,000	7,820,955	▲ 71,955	
	光熱水費	78,534,000	73,944,922	4,589,078	
	清掃費	16,898,000	17,029,646	▲ 131,646	
	安全管理費	55,267,000	55,779,660	▲ 512,660	
	緑地管理費	2,131,000	2,151,660	▲ 20,660	
	設備保守点検費	48,532,000	48,555,730	▲ 23,730	
	修繕費	62,758,000	66,434,034	▲ 3,676,034	
	駐車場管理費	6,990,000	7,054,795	▲ 64,795	
	保険料	1,213,000	1,312,550	▲ 99,550	
	広告宣伝費	8,196,000	7,479,758	716,242	
	一般管理費等経費	122,674,000	126,816,654	▲ 4,142,654	
	租税公課等	8,353,000	8,097,794	255,206	
消費税	4,866,000	3,814,410	1,051,590		
②提案事業による支出	21,257,000	59,063,087	▲ 37,806,087	詳細は提案事業内訳書参照	
支出合計(D)	601,602,000	642,693,393	▲ 41,091,393		

市からの委託(E)		336,783,810		詳細は受託事業内訳書参照
支出総合計(D)+(E)		979,477,203		

営業利益	0	33,530,963		
------	---	------------	--	--

収入

区分	予算額	決算額	差引	備考
自主事業収入	22,788,000	33,207,314	▲ 10,419,314	
オプション収入	14,800,000	29,922,046	▲ 15,122,046	ホール等時間外管理費・警備・清掃・設営撤去費他
自動販売機手数料収入	2,922,000	7,760,707	▲ 4,838,707	
その他	11,100,000	21,151,366	▲ 10,051,366	店舗共益費他
収入合計	51,610,000	92,041,433	▲ 40,431,433	

支出

区分	予算額	決算額	差引	備考
自主事業費	14,460,000	37,776,261	▲ 23,316,261	
オプション支出	6,297,000	16,978,264	▲ 10,681,264	ホール等警備・清掃・設営撤去費他
その他	500,000	4,308,562	▲ 3,808,562	特別清掃費他
支出合計(D)	21,257,000	59,063,087	▲ 37,806,087	

収入

区分	当初予算	決算額	差引	当月の内容等
門衛巡回等		54,317,726		
大黒ふ頭客船受入業務		258,934,780		
山下ふ頭客船受入業務		48,533,577		
市からの委託 小計(B)		361,786,083		

支出

区分	当初予算	決算額	差引	当月の内容等
門衛巡回等		48,558,345		
大黒ふ頭客船受入業務		244,228,782		
山下ふ頭客船受入業務		41,930,470		
消費税		2,066,213		
市からの委託 小計(E)		336,783,810		

■(3)管理業務の報告書(管理業務実施一覧表) 添付資料-3

管理No.	種別	作業内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
OS-1-01	常駐管理	施設管理業務	■												
OS-1-02	常駐管理	設備管理業務	■												
OS-1-03	電気	電灯・動力設備点検												■	
OS-1-04	電気	受変電設備点検												■	
OS-1-05	電気	直流電源設備点検			■										
OS-1-06	電気	構内交換設備点検			■						■				
OS-1-07	電気	電気時計設備点検								■					
OS-1-08	電気	表示設備点検								■					
OS-1-09	電気	インターホン設備点検								■					
OS-1-10	電気	テレビ共同受信設備点検								■					
OS-1-11	電気	監視カメラ(ITV)設備点検												■	
OS-1-12	電気	出入監視等機器緊急対応	■												
OS-1-13	電気	電力監視装置点検			■						■				
OS-1-14	電気	中央監視装置点検			■						■				
OS-1-15	電気	自動制御設備点検		■		■		■		■		■		■	
OS-1-16	空調	冷凍機点検	■				■			■			■		
OS-1-17	空調	ハットーフ空室空調和機点検 (EHP)		■						■					
OS-1-18	空調	氷蓄熱槽点検	■												
OS-1-19	空調	プレート式熱交換器点検								■					
OS-1-20	空調	ヘッダー点検								■					
OS-1-21	空調	冷水膨張タンク(2種)点検								■					
OS-1-22	空調	ユニット型及びコンパクト型 AHU点検		■						■					
OS-1-23	空調	ファンコイルユニット及びファン コンベクタ点検		■						■					
OS-1-24	空調	空気清浄装置点検		■						■					
OS-1-25	空調	空調ポンプ点検		■						■					
OS-1-26	空調	送風機点検		■						■					
OS-1-27	空調	加湿装置点検	■												
OS-1-28	空調	加湿装置清掃								■					
OS-1-29	空調	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に 関する法律に基づく機器の点検			■			■			■			■	
OS-1-30	空調	空気環境測定		■		■		■		■		■		■	
OS-1-31	衛生	上水受水槽清掃											■		

